



**堺化学工業株式会社**



**2018年3月期  
中間決算説明会**

**2017年12月11日**

# 目 次

1. 当社グループ概要
2. 事業紹介
3. 2018年3月期 中間決算概要
4. 注力事業・開発品について
5. 2018年3月期 通期予想
6. 株主還元策

# 堺化学工業(株) 会社概要

本 社	堺市堺区戎島町5丁2番地
代 表 者	代表取締役社長 矢部 正昭
創 業	1918年（大正7年）6月
事業内容	無機化学工業製品、有機化成品、医薬品の 開発・製造・販売
総 資 産	120,707百万円
純 資 産	83,061百万円
関係会社	連結子会社16社（国内8社、海外8社）
従業員数	連結1,861名/単体672名（2017年9月末現在）



# 沿 革

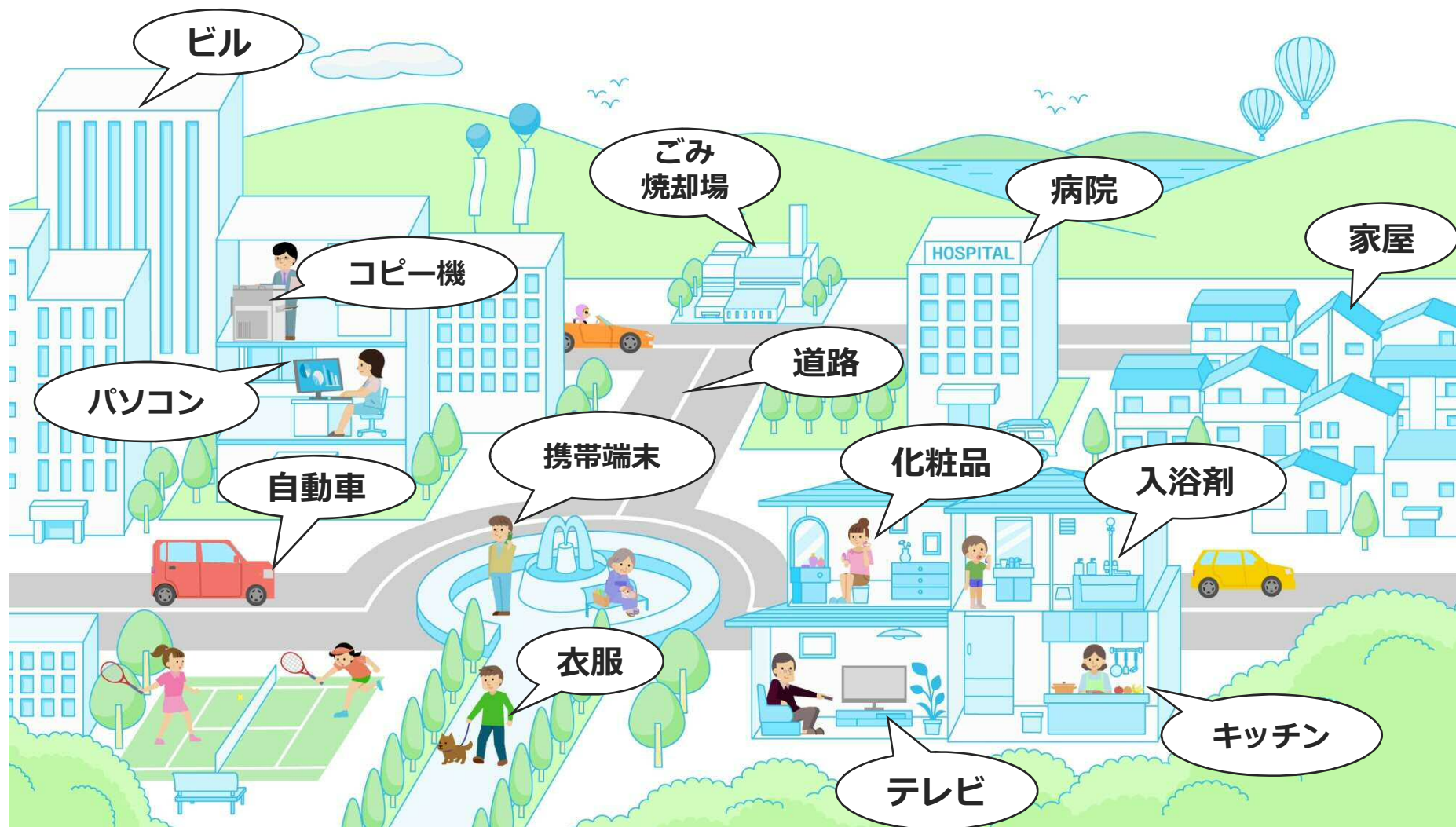
1918年	堺精煉所創立 化粧品用酸化亜鉛の製造開始
1920年	各種バリウム製品の製造開始
1935年	わが国初、酸化チタンの工業生産に成功
1936年	堺商事(株)設立
1949年	塩ビ安定剤の製造開始
1963年	小名浜工場（福島県いわき市）完成（酸化チタン需要増に対処）
1964年	(株)カイゲン（現 カイゲンファーマ(株)）設立（医薬品事業に本格進出）
1969年	ニッケル触媒の製造開始
1978年	脱硝触媒（窒素酸化物除去触媒）の製造開始
1992年	電子セラミックス材料の製造開始
1994年	富岡化学(株)（現 SC有機化学(株)）の全株式取得（有機化成品分野に本格進出）
1997年	超微細酸化亜鉛プラント完成
2005年	化粧品向け超微細品プラント完成



# 沿 革

2007年	Sakai Chemical (Vietnam) Co., Ltd. 設立（樹脂添加剤事業海外進出）
2012年	(株)片山製薬所の全株式取得（医薬品原薬・中間体分野に進出）
2012年	堺商事(株)がインドネシアにPT.S&S HYGIENE SOLUTION(合併会社) 設立（衛生材料分野に進出）
2014年	カイゲンファーマ(株)が松岡メディテック(株)の全株式取得
2016年	(株)片山製薬所 富山工場第3製造棟 竣工
2016年	レジノカラー工業(株) 三田工場 竣工
2016年	ニッケル触媒 大剣製造所内に設備増強
2017年	松岡メディテック(株)の株式（66.7%）をエア・ウォーター(株)に譲渡
2017年	ラインファルト工業(株)の全株式をニチレキ(株)に譲渡

# 暮らしに息づく当社グループ製品



# 当社グループについて

## 化 学【製造・販売】

堺化学工業(株)

大崎工業(株)

レジノカラー工業(株)

共同薬品(株)

SC有機化学(株)

日本カラー工業(株)

(株)片山製薬所

SAKAI CHEMICAL(VIETNAM) CO., LTD.

PT. S&S HYGIENE SOLUTION

## 化 学【販 売】

堺商事(株)

## 医 療【製造・販売】

カイゲンファーマ(株)



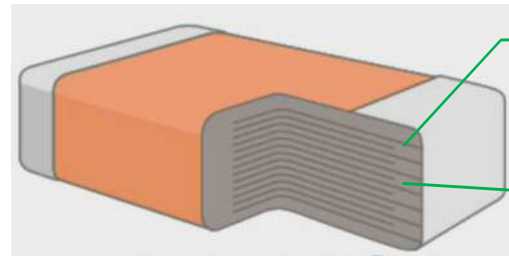
# 事業の紹介① 化学事業

## 事業概要

### 電子材料

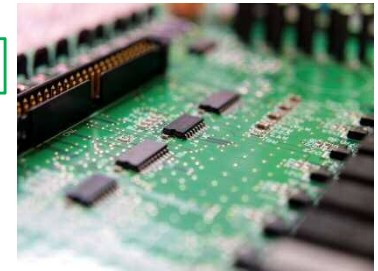
#### 積層セラミックコンデンサ

- ・誘電体 (チタン酸バリウム)
- ・誘電体材料 (高純度炭酸バリウム)
- ・電極材料



誘電体

電極



### 酸化チタン・亜鉛製品

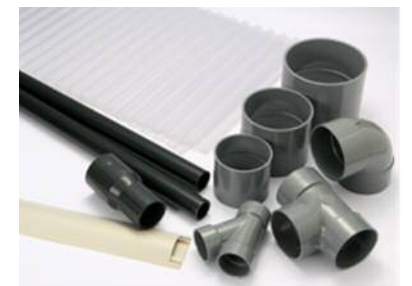
- ・酸化チタン…塗料、インキ、製紙、プラスチック、化学繊維などの白色顔料
- ・酸化亜鉛…ゴム製品の加硫促進助剤など
- ・亜鉛末…船舶・橋梁・タンクなどの重防食塗料
- ・化粧品材料…日焼け止め、ファンデーション



### 樹脂添加剤

#### パイプ、継手、窓枠、壁紙、ワイヤーハーネス

- ・塩ビ安定剤
  - ・非塩ビ安定剤
  - ・ハドのけいけい …農業用フィルム、非鉛系塩ビ安定剤
  - ・金属石鹼など
- 樹脂の加工性向上、劣化抑制など





# 事業の紹介① 化学事業

## 事業概要

### 衛生材料

おむつ、生理用品

- ・高吸水性ポリマー (SAP)
- ・通気性・非通気性フィルム



### 有機化成品

プラスチックレンズモノマー、コンクリート混和剤、潤滑油添加剤、医薬品

- ・有機イオウ化合物→β-メルカプトプロピオン酸を国内唯一製造
- ・有機リン化合物
- ・医薬品原薬・中間体



### 触媒

火力発電所、ごみ焼却場、マーガリン、接着剤、光学フィルム

- ・脱硝触媒 (窒素酸化物除去触媒)
- ・プロセス触媒 (ニッケル触媒) …油脂・樹脂の水素化など
- ・触媒添加剤など



### 受託事業

無機・有機化学工業製品の受託製造

…顔料、着色剤、機能性インキ、触媒、樹脂添加剤など



# 事業の紹介② 医療事業

## 事業概要

(カイゲンファーマ株)

### X線バリウム造影剤

…消化管撮影

薬価引き下げや  
内視鏡検査普及の影響  
を受ける



### 医療機器

・内視鏡用洗浄消毒器

→バリウムから胃カメラ検診  
への移行に対応。

成長ドライバーとして位置付け、  
開発に注力。



### アルロイドG

…消化性潰瘍・逆流性食道炎治療薬

薬価引き下げやジェネリック  
医薬品使用促進策強化の影響  
を受ける



### 一般用医薬品

- ・「改源」シリーズ
- ・カイゲン顆粒
- ・カイゲンパックIB顆粒



台湾など東南アジア市場への販売目指す

# 2018年3月期 決算サマリー

## 2018年3月期 中間期

---

- ◆ 一部製品が顧客の生産調整の影響で減少したものの、アジア諸国の環境対策の強化、自動車の急速な電装化に伴い電子材料や樹脂添加剤が堅調に推移し、増収となった。
- ◆ 鉱石価格が上昇したが、高品質・高付加価値製品の販売強化に努めるとともに事業全般にわたるコストダウンを図り、増益となった。

## 2018年3月期 業績予想

---

プラス

誘電体関連材料、樹脂添加剤、化粧品材料が堅調に推移

マイナス

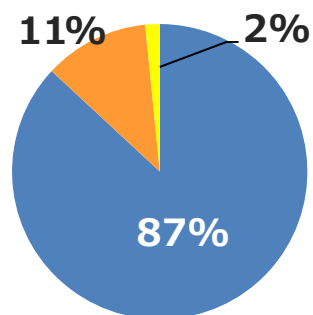
- ・ 松岡メディテック、ラインファルト工業の譲渡による売上減少
- ・ 鉱石価格の高値安定によるコスト増
- ・ 小名浜事業所の休止設備・工場の撤去および解体に伴う特別損失
- ・ カイゲンファーマにおける治験費用の発生

# 2018年3月期業績概要(対前年同期)

金額単位：百万円

摘 要	前中間期 (2016.9)		当中間期 (2017.9)		増 減	
		構成比		構成比		
売上高	40,515	100.0%	42,931	100.0%	2,415	6.0%
営業利益	1,868	4.6%	2,322	5.4%	454	24.3%
経常利益	1,342	3.3%	2,210	5.2%	867	64.6%
親会社株主に帰属する 当期純利益	654	1.6%	1,205	2.8%	550	84.1%
設備投資額		2,595		1,699	▲ 896	▲34.5%
減価償却費		1,360		1,463	103	7.6%
研究開発費		1,573		1,519	▲ 53	▲3.4%

# 事業別売上高・営業利益



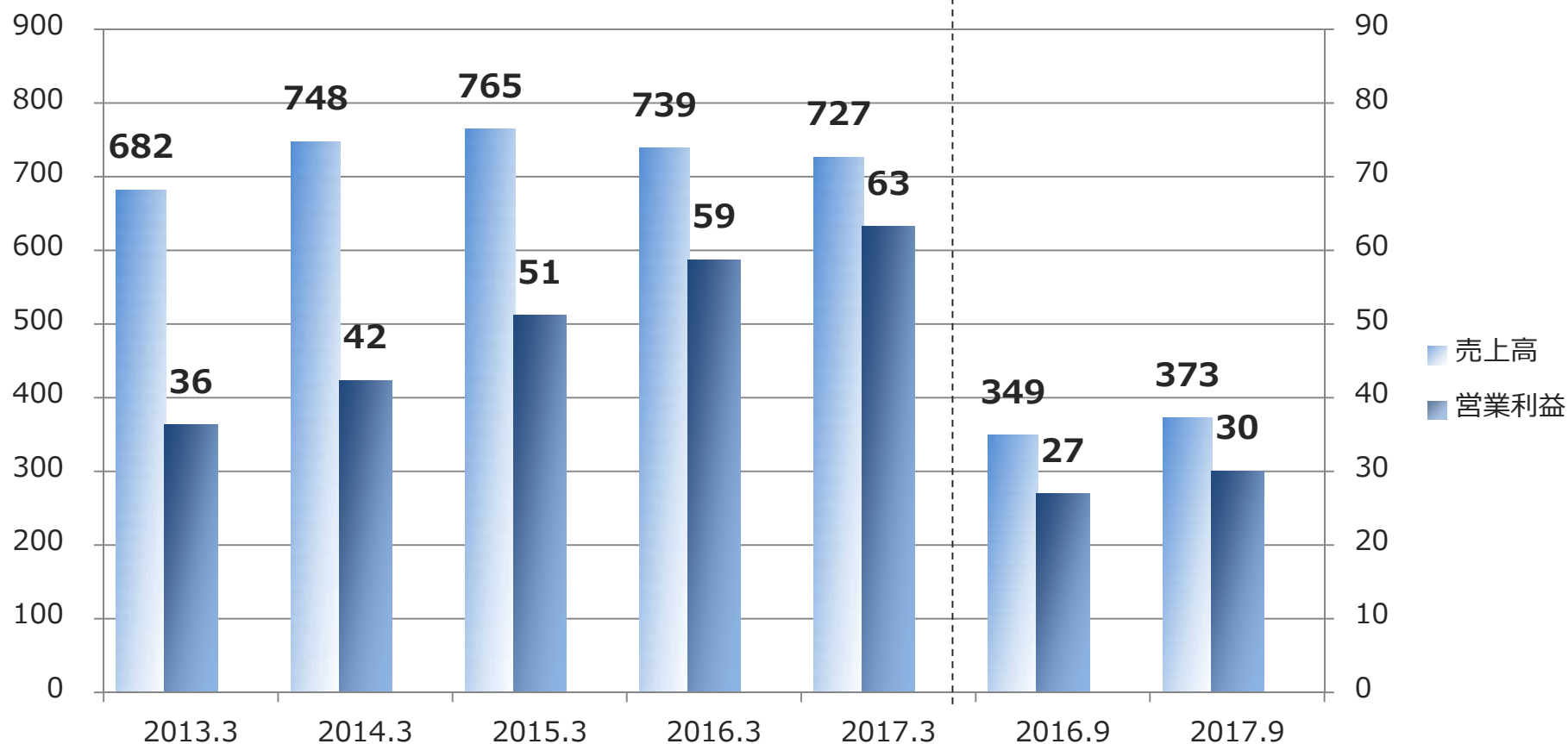
金額単位：百万円

概要		前中間期 (2016.9)	当中間期 (2017.9)	増 減 (率)	
化学事業	売上高	34,908	37,309	2,401	6.9%
	営業利益	2,702	3,008	306	11.3%
医療事業	売上高	4,981	4,947	▲ 34	▲0.7%
	営業利益	78	245	167	213.0%
その他	売上高	625	674	48	7.7%
	営業利益	▲ 13	16	30	—
調整額	売上高	—	—	—	—
	営業利益	▲ 898	▲ 947	—	—
合計	売上高	40,515	42,931	2,415	6.0%
	営業利益	1,868	2,322	454	24.3%

# 化学事業の売上高・営業利益

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)

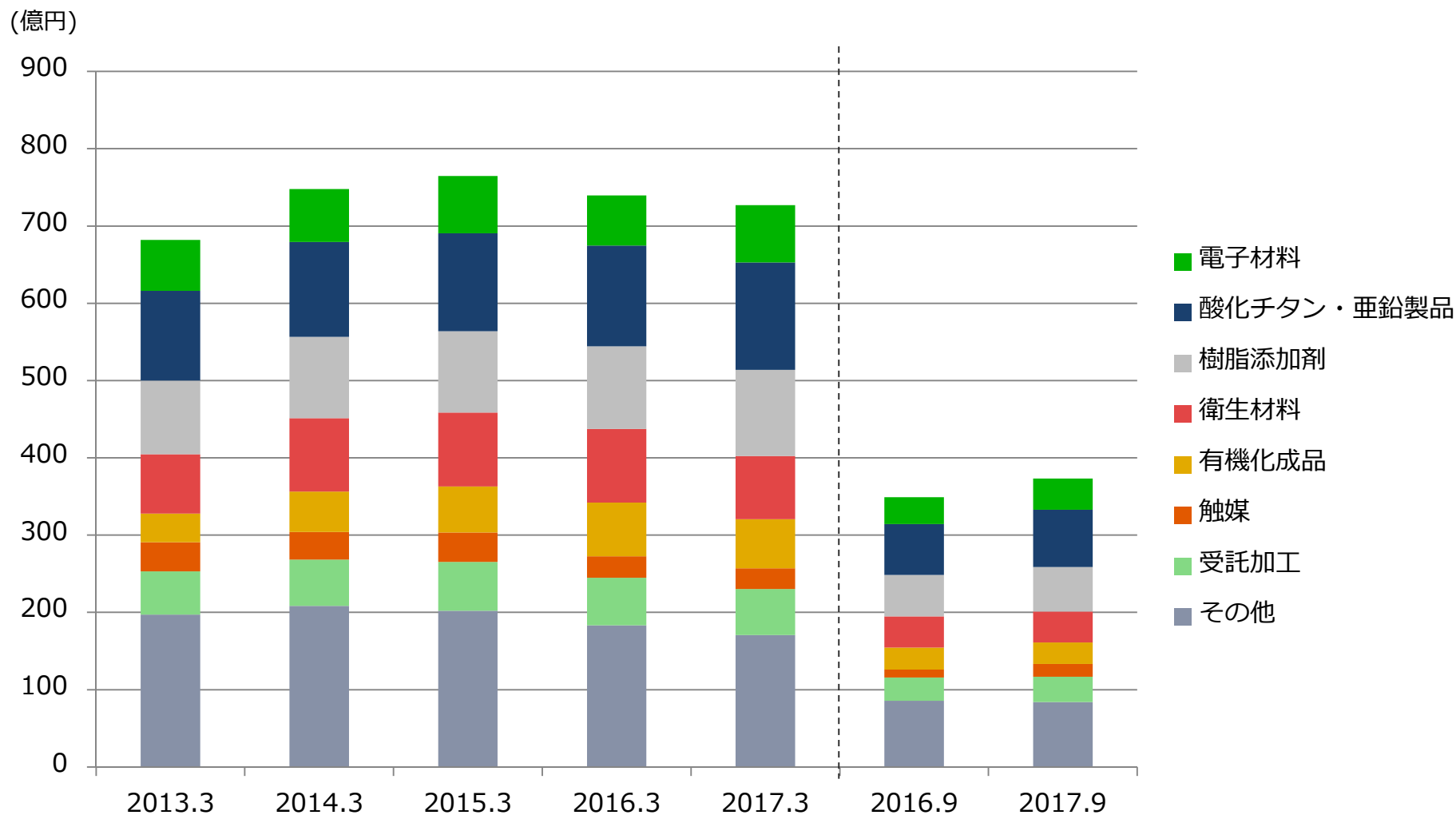


# 化学事業の製品別売上高

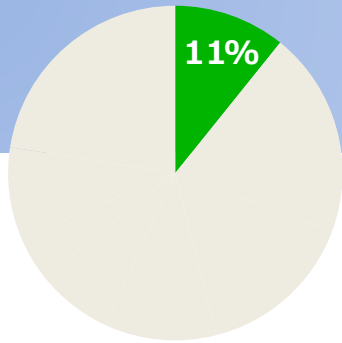
金額単位：百万円

摘 要	前中間期 (2016.9)		当中間期 (2017.9)		増 減	
		構成比		構成比		
電子材料	3,478	10.0%	4,019	10.8%	541	15.6%
酸化チタン・亜鉛製品	6,581	18.9%	7,424	19.9%	843	12.8%
樹脂添加剤	5,349	15.3%	5,737	15.4%	388	7.3%
衛生材料	4,066	11.6%	4,034	10.8%	▲ 32	▲0.8%
有機化学品	2,825	8.1%	2,770	7.4%	▲ 55	▲1.9%
触 媒	1,046	3.0%	1,638	4.4%	592	56.6%
受託加工	2,991	8.6%	3,284	8.8%	293	9.8%
その他	8,572	24.6%	8,403	22.5%	▲ 169	▲2.0%
合 計	34,908	100.0%	37,309	100.0%	2,401	6.9%

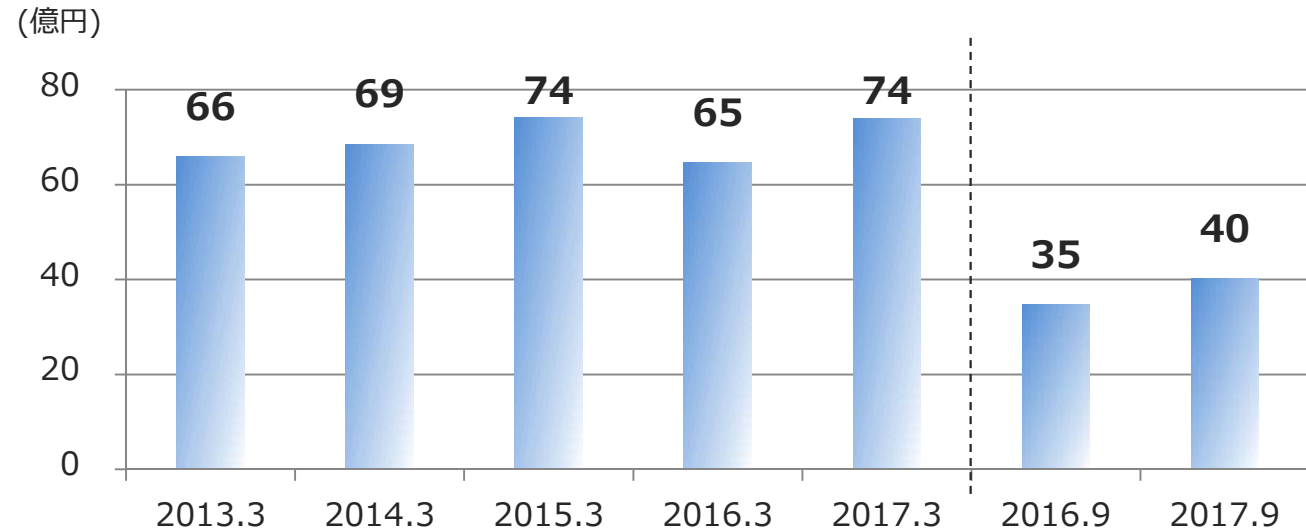
# 化学事業の売上高推移





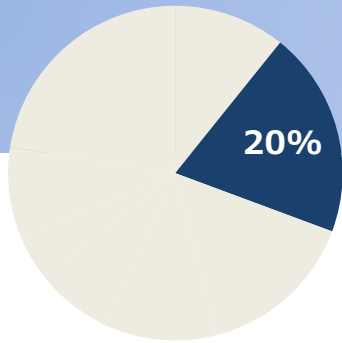


# 電子材料

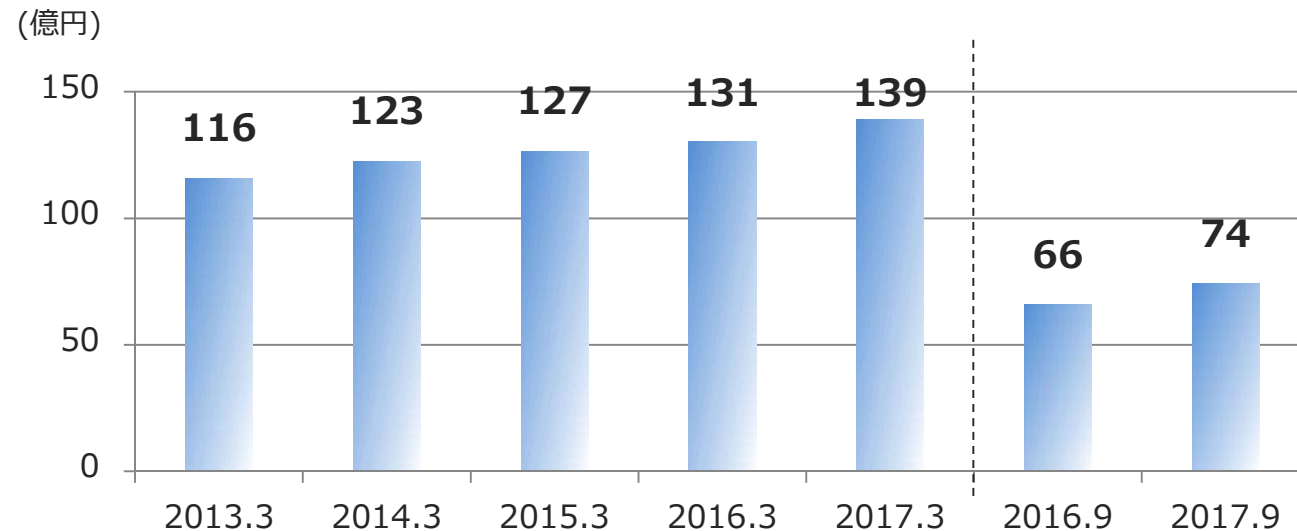


## 2018年3月期中間期のポイント

- 誘電体は、HEV/EVを含めた自動車やADAS（先進運転支援システム）などの普及で車の電装化が進んでいることから、車載向けが堅調に推移。スマートフォン向けについても一時中国で在庫調整があったものの、米国の新製品発売もあり堅調に推移。
- 誘電体材料および電極材料は、コンデンサが好調であることから、販売数量が伸張。
- 売上高は前年同期比、+541百万円、15.6%増の4,019百万円。



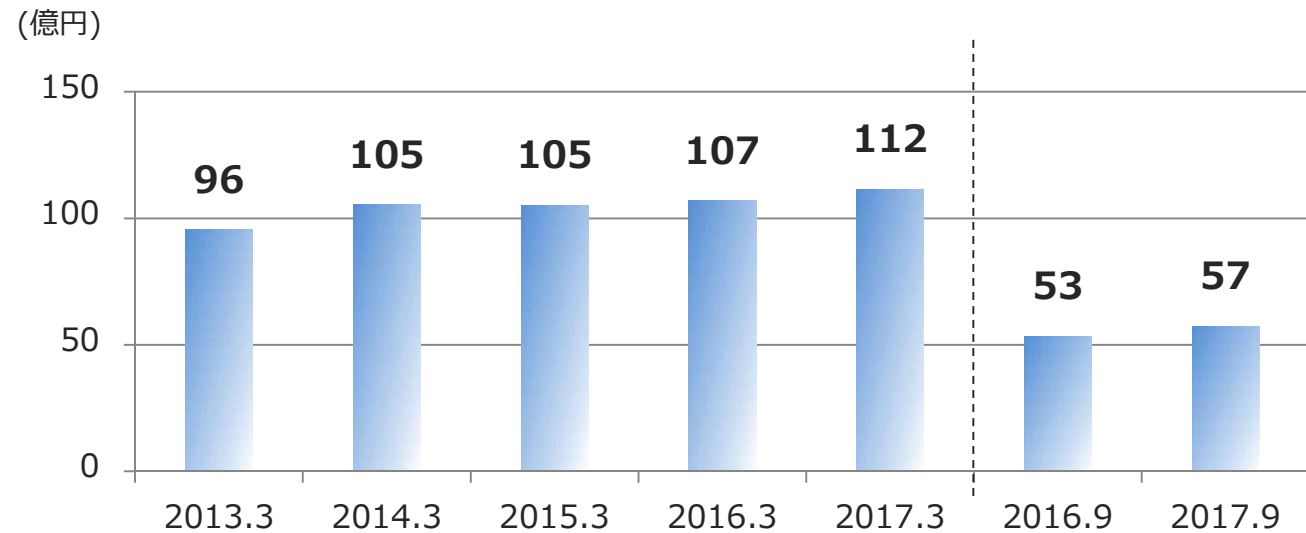
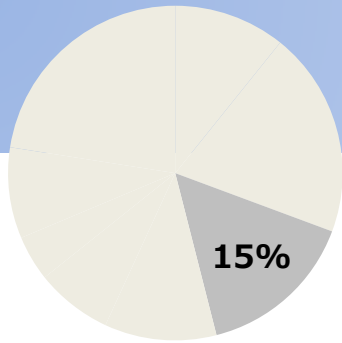
# 酸化チタン・亜鉛製品



## 2018年3月期中間期のポイント

- 酸化チタンは、全般にわたり堅調に推移したが、鉱石価格の上昇によるコスト増を補えず利益は大幅に減少。7月1日納入分から価格是正を実施し、12月から利益改善見込み。
- 亜鉛製品は、出荷数量が減少したものの、亜鉛建値の上昇で販売単価が高値で推移。
- 化粧品材料は、日焼け止め向けが国内の大手化粧品メーカーおよびOEMメーカーに販売が伸長するとともに、海外の新規採用も加わり好調に推移。
- 売上高は前年同期比、+843百万円、12.8%増の7,424百万円。

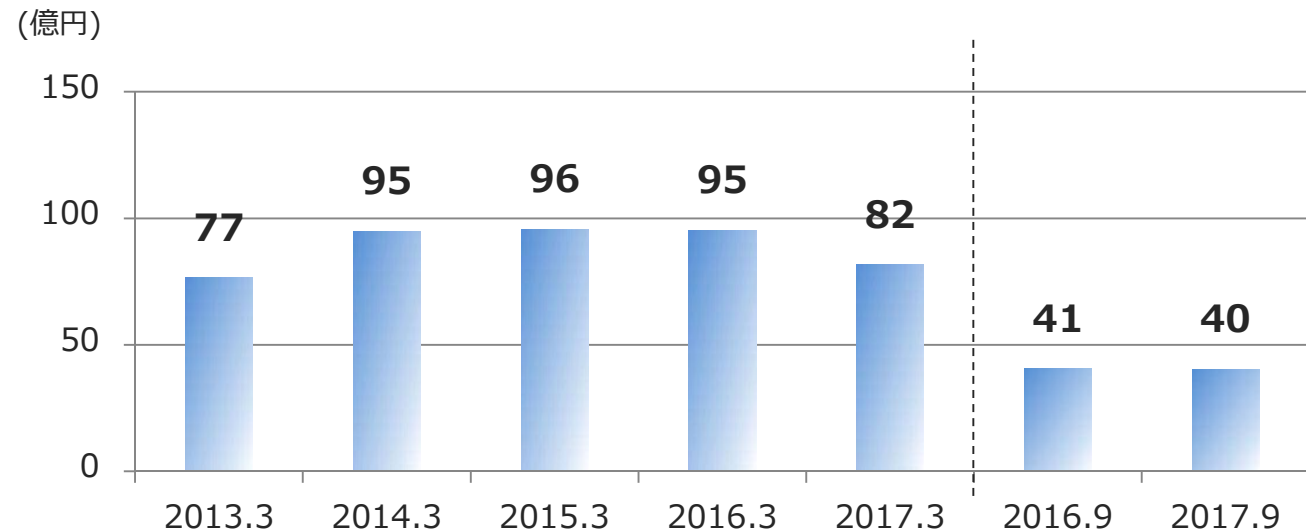
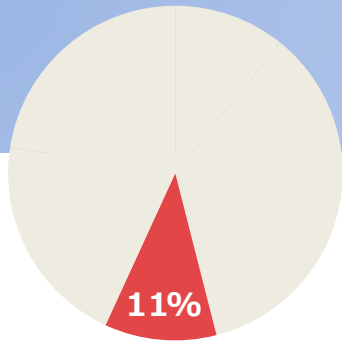
# 樹脂添加剤



## 2018年3月期中間期のポイント

- 非鉛安定剤およびヒドロタルサイトは、世界的に脱鉛化が進んでいる中で、ベトナムの日系顧客向けに販売を伸ばし、堅調に推移。
- 共同薬品においてLED向けエポキシ材料が堅調に推移。
- 売上高は前年同期比、+388百万円、7.3%増の5,737百万円。

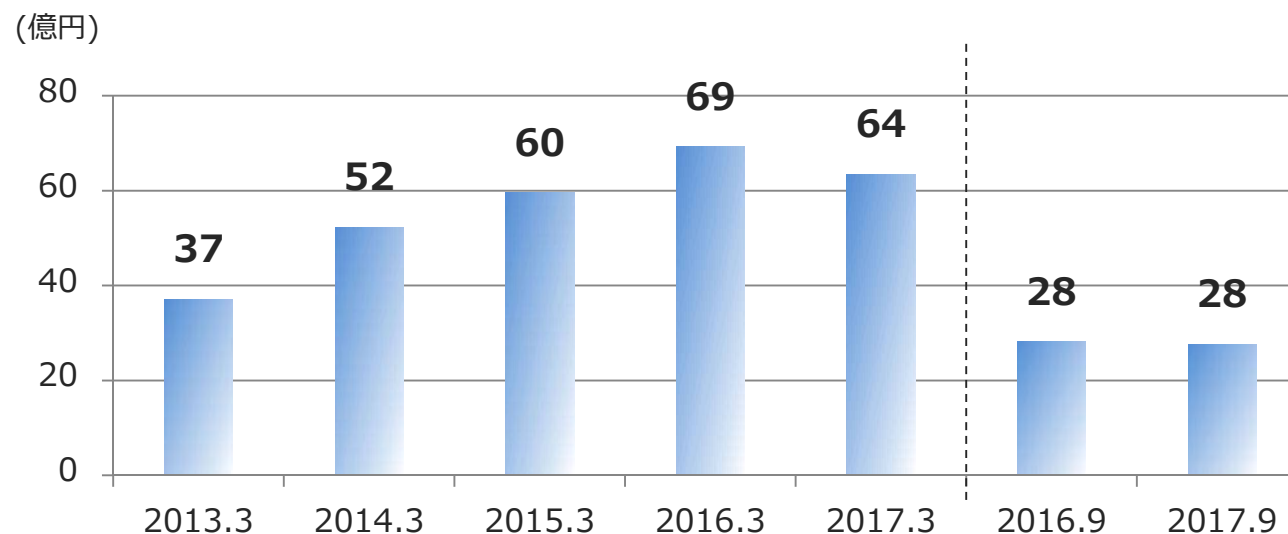
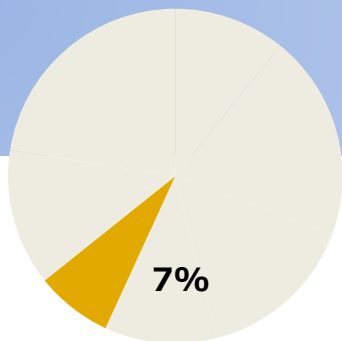
# 衛生材料



## 2018年3月期中間期のポイント

- 衛生部材(フィルム・不織布)は、売上は堅調に推移したものの、利益は堺商事のインドネシア子会社において顧客ニーズの高度化により歩留りが低下して減少。
- 堺商事が仕入れ販売を行っている高吸水性樹脂(SAP)は、拡販が進まず、また一部海外顧客の商流の変化があり、低調に推移。
- 売上高は前年同期比、▲32百万円、0.8%減の4,034百万円。

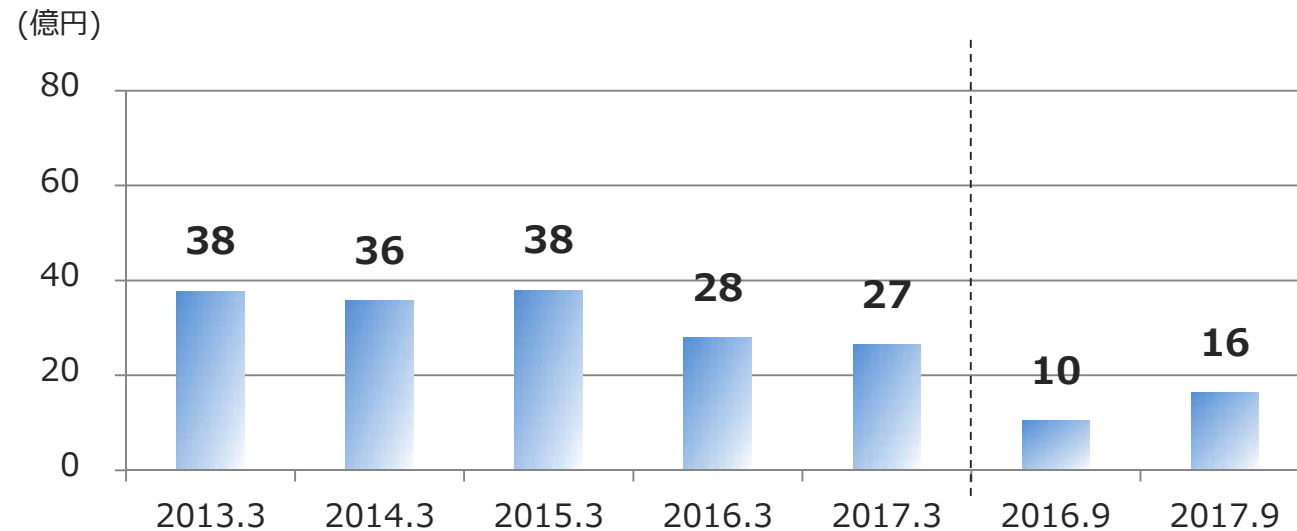
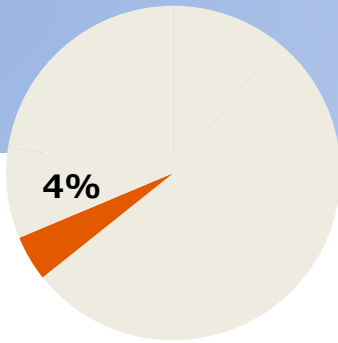
# 有機化学品



## 2018年3月期中間期のポイント

- SC有機化学のチオ製品は、中国向けに輸出を増やしたが、品質トラブルにより一時的に出荷減少。現在は品質問題は解消済み。
- 片山製薬所の医薬中間体は、売上は前年同期並みに推移したが、利益は富山工場第3製造棟の建設による減価償却負担および次期開発費増により大幅に減少。
- 売上高は前年同期比、▲55百万円、1.9%減の2,770百万円。

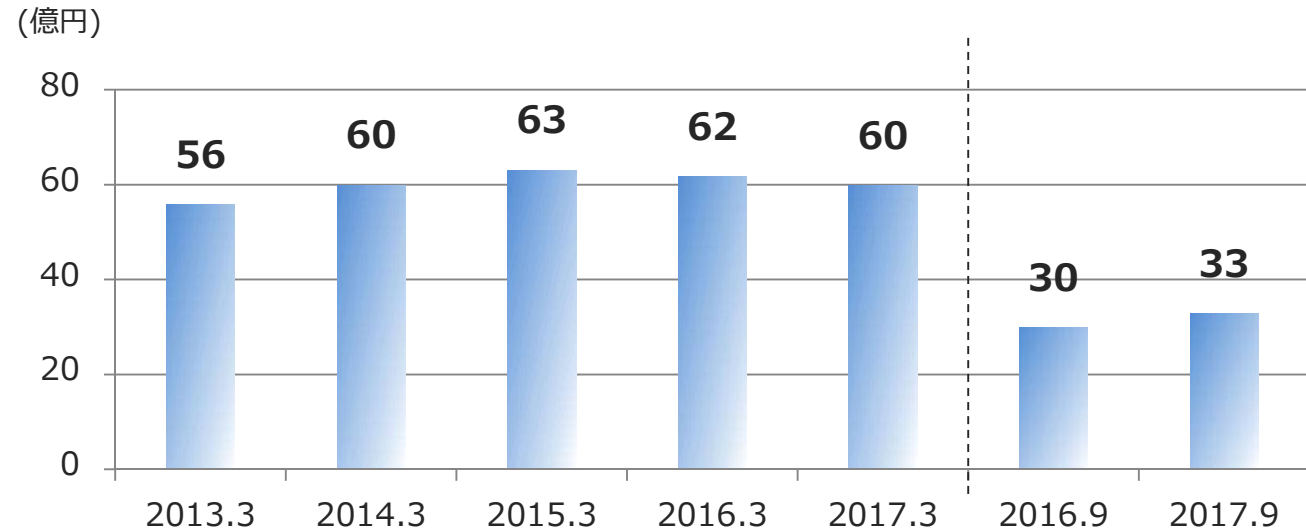
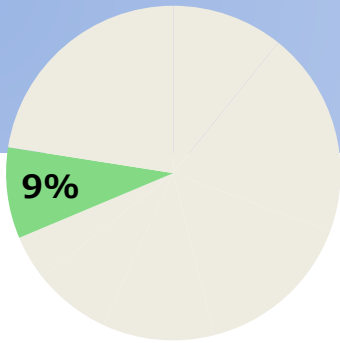
# 触媒



## 2018年3月期中間期のポイント

- 石油樹脂の水素添加などに使用するニッケル触媒(ex:紙おむつの接着剤の製造工程で透明性や無臭性を付与)は、大口顧客の生産立ち上げが遅れたことにより、低調に推移。
- 脱硝触媒は、中国の環境規制を背景に、大型ごみ焼却炉向けを中心に販売が大幅に増加。
- 触媒添加剤は、北米向けに販売が大幅に増加。
- 売上高は前年同期比、+592百万円、56.6%増の1,638百万円。

# 受託加工



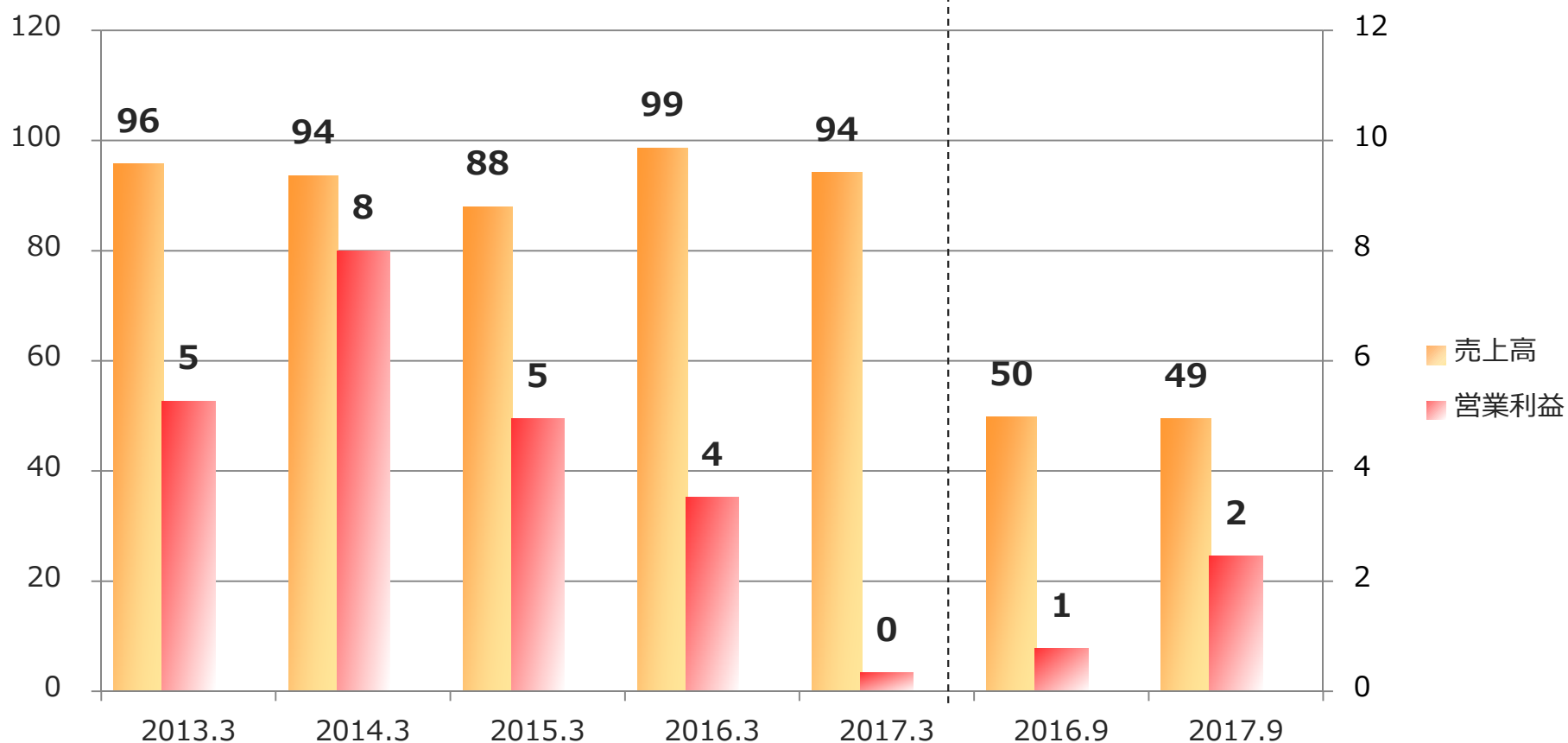
## 2018年3月期中間期のポイント

- レジノカラー工業は、売上は前年同期並みに推移したものの、利益は三田工場の建設による減価償却負担により減少。
- 日本カラー工業は、順調に受託を獲得し、売上・利益ともに好調に推移。
- 売上高は前年同期比、+293百万円、9.8%増の3,284百万円。

# 医療事業の売上高・営業利益

売上高  
(億円)

営業利益  
(億円)



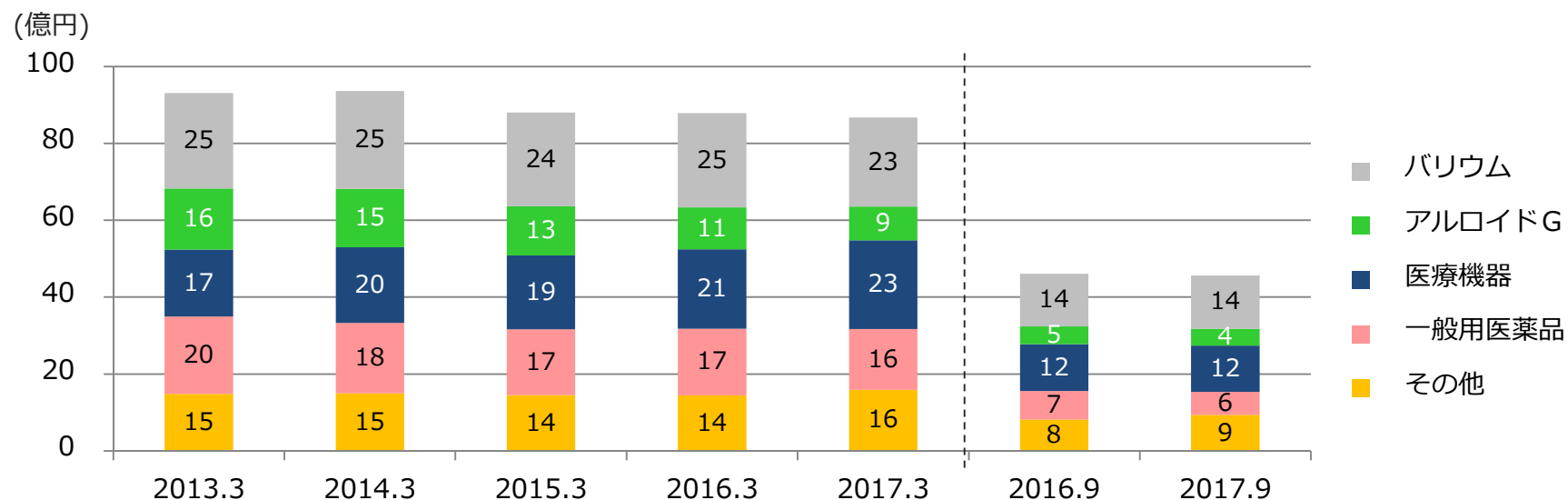


# カイゲンファーマの製品別売上高

金額単位：百万円

摘 要	前中間期 (2016.9)		当中間期 (2017.9)		増 減	
		構成比		構成比		
バリウム	1,368	29.7%	1,386	30.4%	18	1.3%
アルロイドG	460	10.0%	443	9.7%	▲ 17	▲3.7%
医療機器	1,224	26.6%	1,199	26.3%	▲ 25	▲2.0%
一般用医薬品	741	16.1%	601	13.2%	▲ 140	▲18.9%
その他	814	17.7%	937	20.5%	123	15.1%
合 計	4,607	100.0%	4,566	100.0%	▲ 41	▲0.9%

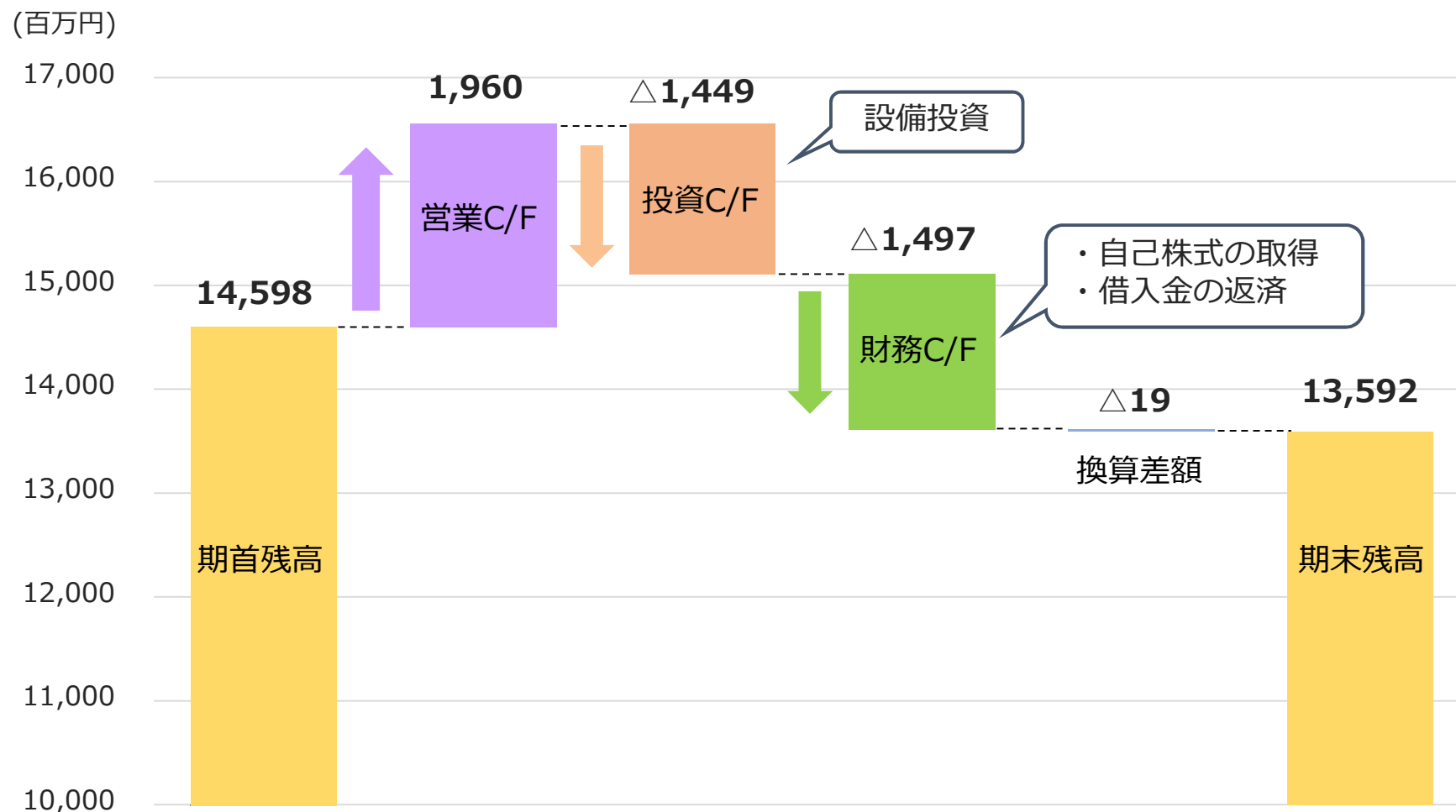
# カイゲンファーマの製品別売上高推移



## 2018年3月期中間期のポイント

- X線バリウム造影剤は堅調に推移。
- 「アルロイドG」は原料の値上がりの影響を受けて減益。
- 医療機器は、新発売ほどの伸びはないものの、保守契約の獲得などにより増益。
- かぜ薬「改源」やその他の一般用医薬品は低調に推移。
- 新規製品である「ソルプロ」(日焼け止めの飲み薬)、「レボシス」(人工骨充填材)、「グルカゴン」(消化管蠕動運動抑制作用)が売上に寄与。
- 広告宣伝の見直し等コストダウンを図り、利益は回復。

# キャッシュ・フロー計算書



# 注力事業・開発品について

## 誘電体・誘電体材料・電極材料

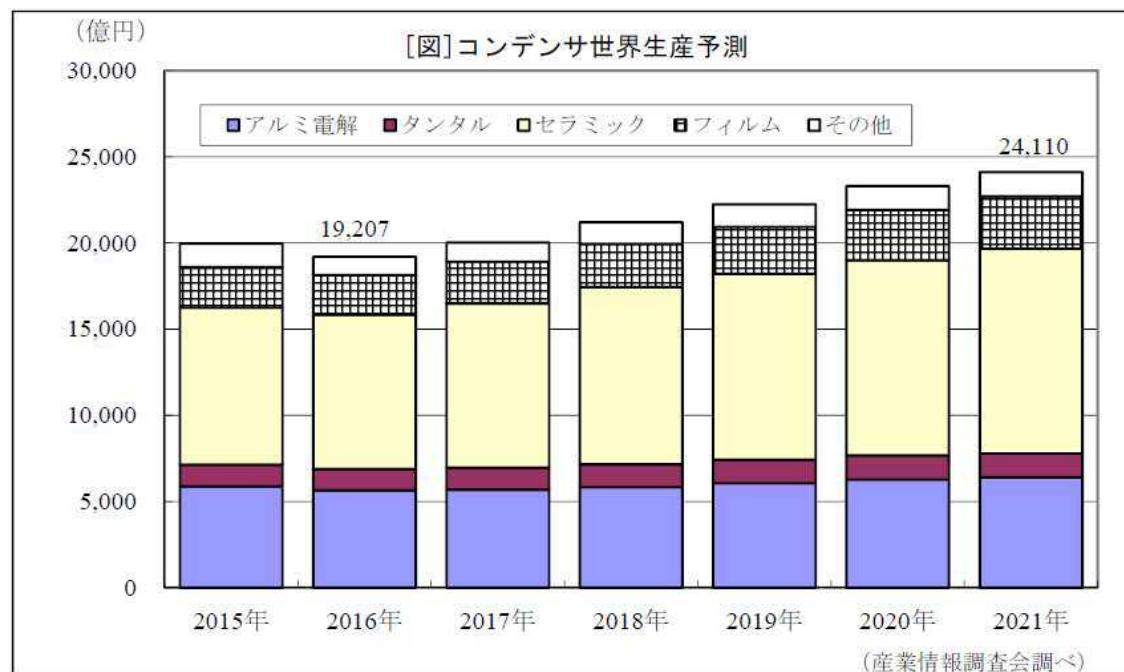
車載電子製品の増加やIoTの普及により、コンデンサ関連の需要増加

### 自動車

HEV/EVを含めた自動車の生産は堅調に推移、ADAS（先進運転支援システム）などの普及で車の電装化はさらに加速。

### スマートフォン

一時期の成長の勢いが鈍っているが、高機能化は進展し、電子部品の搭載数量が増加。



『2017年版 コンデンサ市場』より

コンデンサ市場は2016年以降、平均年率約3.7%で堅調に推移し、2021年には2兆4,000億円台に達すると予測されている。

# 注力事業・開発品について

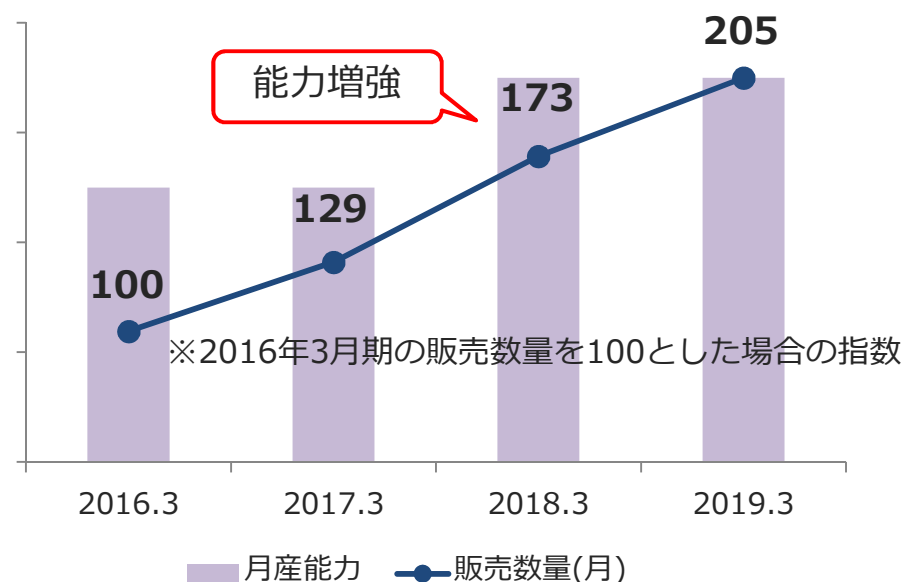
## 誘電体材料

今後も車載向けが好調に推移することから、大型で信頼性の高い電子部品需要が増加。



当社はその需要に応えるべく、高純度かつ信頼性に優れた誘電体材料を開発・提供し、販売数量および売上の増加を見込む。

誘電体材料の販売数量計画



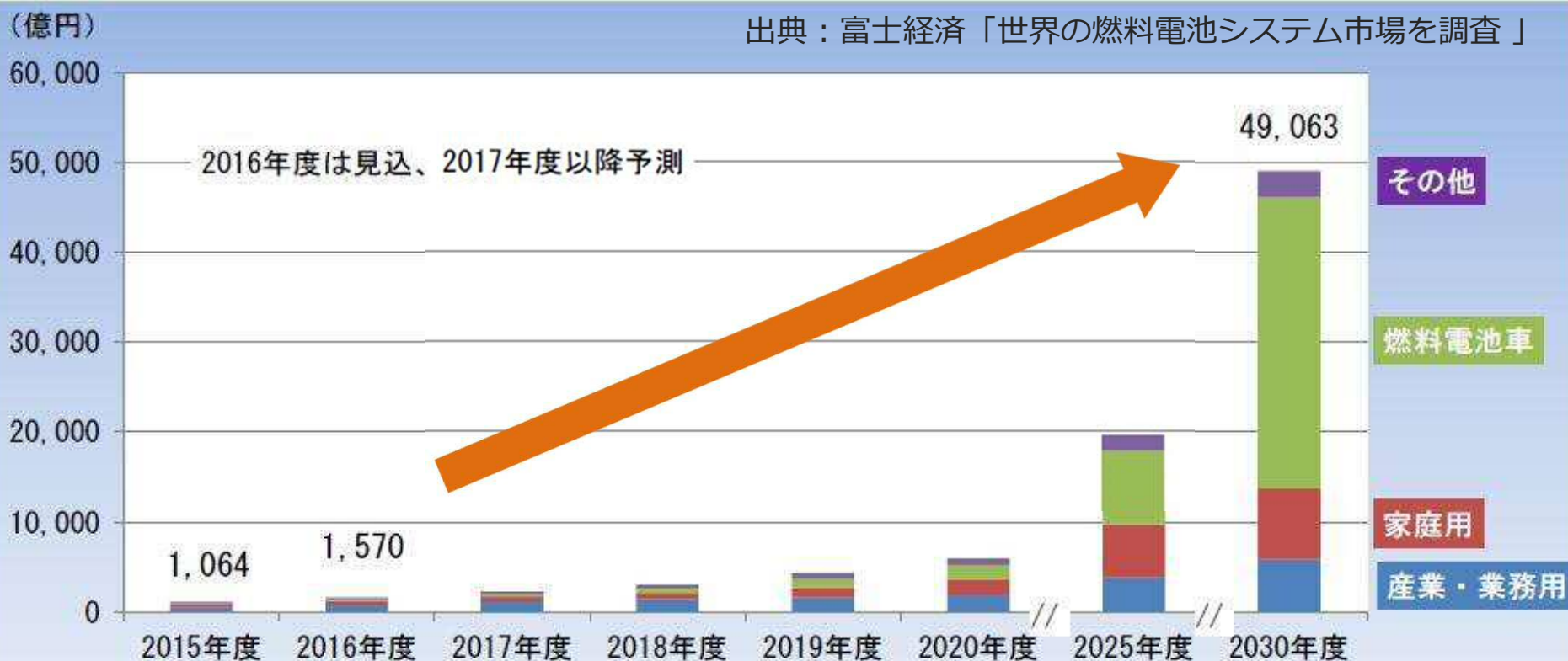
**2019年3月期の数量増加を見越し、本年12月に小名浜事業所内の生産設備増強工事が完了予定（月産能力は約3割増）。**

**2019年3月期には、2016年3月期と比べ15億円の売上増を計画。**

# 注力事業・開発品について

## 燃料電池

### 燃料電池システムの世界市場



# 注力事業・開発品について

## 燃料電池材料

### ■ 鉄系複合酸化物

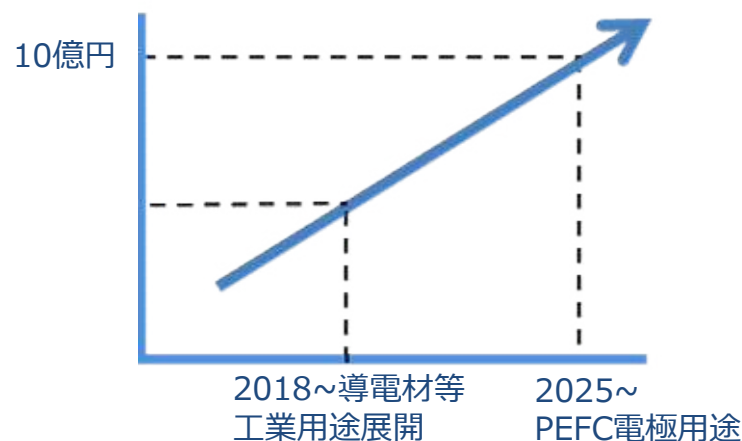
複合酸化物の工業化の知見を活かし、燃料電池の性能を向上すべく、高導電性・高耐久性を有するSOFC材料用の鉄系複合酸化物材料を開発している。

**家庭用燃料電池エネファームや業務用燃料電池へ参入し、その市場拡大に伴い、2020年以降に年間3億円以上の売上を目指します。**

### ■ 低次酸化チタン ENETIA®



ENETIA  $Ti_4O_7$



PEFC燃料電池には電極触媒が必要であり、現行の触媒に使用されているカーボンの代わりとなる、高電位耐久性・高導電性を有する酸化物触媒のニーズが高まっている。

**工業用途や燃料電池分野への早期参入を目論み、2025年に10億円以上の売上を目指します。**

# 注力事業・開発品について

## 有機化学品

### ■ β-メルカプトプロピオン酸

SC有機化学が国内で唯一製造

〈主な用途〉

プラスチックレンズモノマー  
コンクリート混和剤

アイウェア市場が堅調に推移するとともに、中国でインフラ整備が進むことから、β酸はフル稼働が続く見込み。



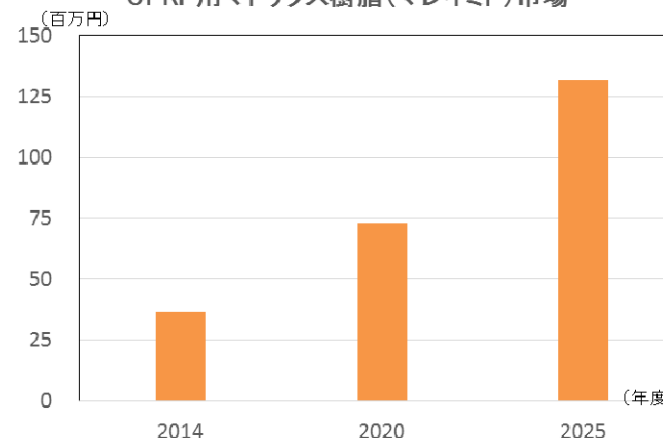
β酸の高稼働率および安定品質を維持しながら、さらなる増産施策を検討してまいります。

### ■ チオール変性マレイミド樹脂



樹脂外観

CFRP用マトリクス樹脂(マレイミド)市場



富士経済 炭素繊維複合材料関連技術用と市場の展望2016から引用

マレイミドをチオールで変性して得られる樹脂は、高耐熱性、高靱性の特長を有している。

航空機、自動車等の高耐熱性が要求される用途に対して展開を図ってまいります。



# 注力事業・開発品について

## 化粧品材料

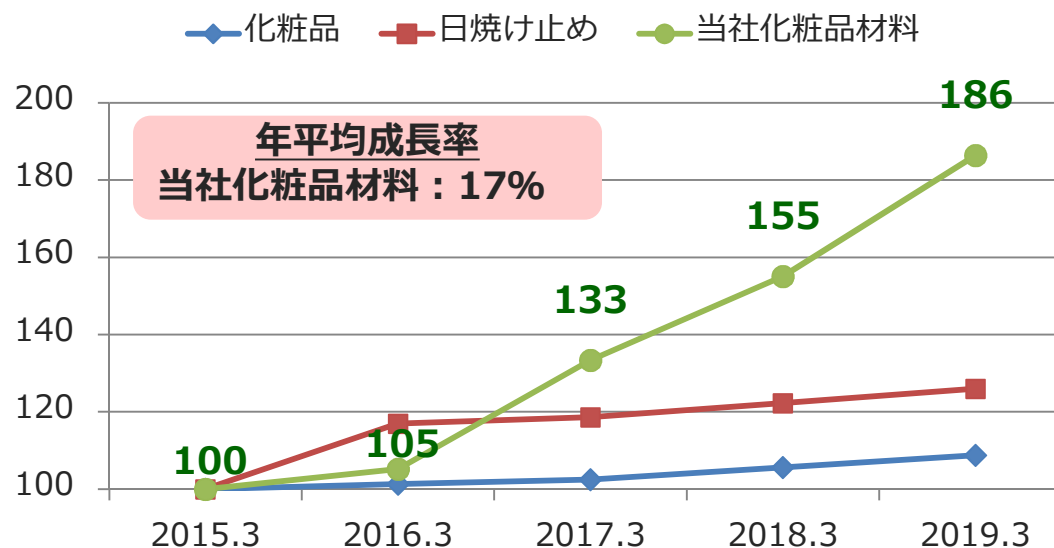
化粧品市場の売上高は、2018年3月期以降、伸長率3%の見込みであり（富士キメラ総研）、今後も堅調に推移。

当社は、

1. 特殊形状酸化亜鉛や水分分散体などオンリーワン製品の開発により売上拡大
2. 化粧業界の動きに乗じて数量拡大

を図り、市場以上の成長を目指す。

化粧品・日焼け止め市場および当社の売上高推移



※2015年3月期の売上高を100とした場合の指数

**2018年3月末完工を目指し、化粧品向けプラントの生産能力増強を実施。**

# 注力事業・開発品について

## 蛍光体関連

### ■ Lumate® (ルーメイト)

日焼けやしわなどの原因となる紫外線を有効に使える材料として提案。紫外線を可視光に変換できる材料。化粧品で使用実績のある元素のみで構成されていることが特徴。  
RGBの3色をラインアップ。



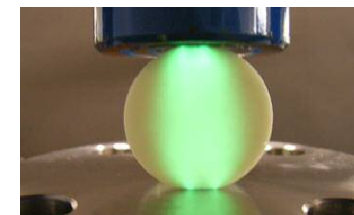
赤…健康的な肌を演出

緑…ニキビなどの赤味を補正

青…透明感を付与

### ■ 応力発光体

力が加わると、光励起により蓄積されたエネルギーを放出して発光する材料



インフラ構造物の安全管理や各種部品の耐久試験などに適用し、発光により劣化箇所を検出するセンサーとしての役割が期待されている。

アパレルブランド、アンリアレイジ (ANREALAGE) が、応力発光体を素材として適用し、加わる力を可視化できる服を発表。

また、同ブランドとオニツカタイガー (Onitsuka Tiger) が協業し、大きく変形する箇所が発光するスニーカーも実用化に向けて検討中。



# 注力事業・開発品について

## 蛍光体関連

### ■ 長残光蛍光体

屋内・外の防災標識など、防災意識の高まりにより世界的にニーズが高まっている今のタイミングで参入を目論んでいる。



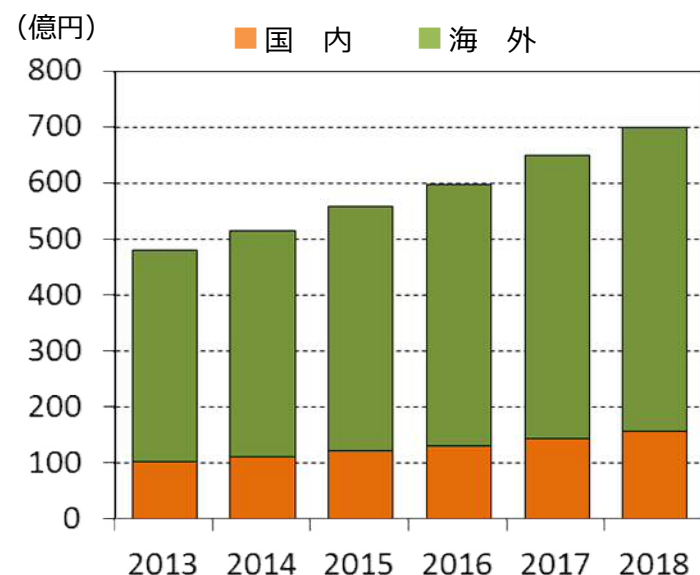
粉体外観（発光状態）



社団法人日本標識工業会  
防災標識が「バック」より抜粋



蛍光体含有樹脂ペレット → 暗所で1時間経過後も高輝度に発光



Yano E plus 2016年5月号 蓄光材料市場から引用

当社開発中のアルミン酸塩長残光蛍光体は、次の特徴を有している。

- ・ 長残光性
- ・ 表面処理による不活性化
- ・ 樹脂へ練り込みやすい粒子径

**2018年に上市、2025年に4億円以上の売上目標を掲げています。**

# 業績予想

金額単位：百万円

摘 要	前期 (2017.3)		当中間期 (2017.9)		通期予想 (2018.3)	
		構成比		構成比		構成比
売上高	83,938	100.0%	42,931	100.0%	86,000	100.0%
営業利益	4,551	5.4%	2,322	5.4%	3,900	4.5%
経常利益	4,290	5.1%	2,210	5.2%	3,300	3.8%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,037	2.4%	1,205	2.8%	1,700	2.0%

# 設備投資、減価償却、研究開発費等

金額単位：百万円

摘 要	前期 (2017.3)	当中間期 (2017.9)	通期予想 (2018.3)
設備投資額	3,939	1,699	4,000
減価償却費	2,877	1,463	3,000
研究開発費	2,909	1,519	3,000
借入金	16,602	15,809	16,600
従業員数	1,870	1,861	1,900

設備投資…誘電体材料、化粧品材料の設備増強

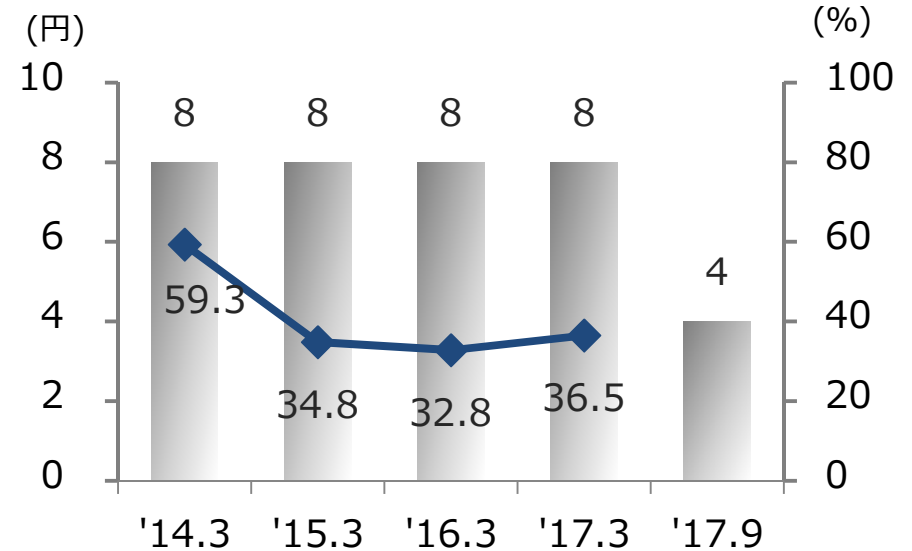
# 株主還元策

## ■ 剰余金の配当等の決定に関する方針

剰余金の配当につきまして当社は、株主の皆様への安定した利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を図るとともに利益動向や経営環境を勘案し、年2回の配当を実施することを基本方針としております。

今後も、中長期的な視点にたって、成長が見込まれる事業分野に経営資源を投入することにより、持続的な成長と企業価値の向上ならびに株主価値の増大に努めてまいります。

## ■ 配当性向



## ■ 自己株式取得

2017年5月11日取締役会決議による取得結果

取得対象株式の種類	普通株式
取得し得る株式の総数	2,286,000株 (91.4%)
株式の取得価額の総額	999,504,000円 (100.0%)
取得期間	2017年5月17日～2017年9月1日

<注>

本年10月1日付で単元株式数を1,000株から100株に変更するとともに、普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しましたので、期末配当金は1株当たり20円を予定しております。

# ご清聴ありがとうございました。

本資料における見通しは、本資料発表日時点で入手可能な情報により当社が判断したものです。実際の業績は様々なリスク要因や不確実な要素により、本資料業績予想と大きく異なる可能性があります。

